



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,297	14.4	288	55.3	303	53.4	188	56.8
2020年3月期第3四半期	16,695	18.2	645	226.6	652	197.5	436	270.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 257百万円 (43.2%) 2020年3月期第3四半期 452百万円 (641.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	217.90	
2020年3月期第3四半期	504.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,945	7,317	49.0
2020年3月期	15,236	7,103	46.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,317百万円 2020年3月期 7,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	7.9	850	20.4	860	20.3	540	18.6	624.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	865,301 株	2020年3月期	865,301 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	862 株	2020年3月期	829 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	864,452 株	2020年3月期3Q	864,578 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1) 四半期連結貸借対照表	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(追加情報)	7
	(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が依然として続く中、政府による各種施策により感染防止策を講じつつ経済活動のレベルを段階的に引き上げ、徐々に持ち直しの動きはあったものの、年末に向け再び感染拡大の傾向となるなど感染収束の長期化が懸念されており、景気の下振れリスクの高まりに注意が必要な状況にあります。

世界経済も、米中の対立や欧州各国における新型コロナウイルス感染症対策のための行動制限が続く中、大幅な落ち込みとなりました。

ICT業界におきましては、DX（デジタルトランスフォーメーション）の期待や需要は高まりつつあり、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などのデジタル技術の進化とともに、「働き方改革」や「新しい生活様式」への取り組みなどを背景とした企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新需要には底堅さがあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが増しました。

このような経営環境のもと、当社グループの第3四半期連結累計期間の売上高は、前年の有力OS（オペレーティングシステム）のサポート終了に伴うパソコン更新需要や消費税増税対応が収束した反動に加え、コロナ禍での行動制限から受注活動が低迷し、142億97百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少やシステムエンジニアリング商談の停滞により、営業利益は2億88百万円（前年同期比55.3%減）、経常利益は3億3百万円（前年同期比53.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億88百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、フィールドサービスは微増となりましたが、情報通信機器、システムエンジニアリングサービスやネットワーク工事関連、電子デバイスが減収となったことから、売上高は81億40百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により、営業利益は1億26百万円（前年同期比58.6%減）となりました。

「東日本」は、情報通信機器、システムエンジニアリングサービスやフィールドサービスが減収となったことから、売上高は32億46百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少やシステム部門の採算低下により、営業利益は1億8百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

「西日本」は、情報通信機器、システムエンジニアリングサービス、電子デバイスやフィールドサービスが減収となったことから、売上高は28億38百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少により、営業利益は69百万円（前年同期比73.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億91百万円減少し、149億45百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が10億94百万円、商品が4億80百万円、仕掛品が1億81百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が21億52百万円減少するなど、流動資産が2億71百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、5億5百万円減少し、76億27百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が2億96百万円、長期借入金が7億円増加した一方、支払手形及び買掛金が6億96百万円、未払法人税等が3億42百万円、賞与引当金が2億48百万円減少するなど、流動負債が11億93百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億13百万円増加し、73億17百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1億45百万円増加したことによる純資産の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は49.0%（前連結会計年度末は46.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等、依然として先行き不透明な状況が予想されますが、2020年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,283,151	6,377,953
受取手形及び売掛金	6,080,339	3,927,404
電子記録債権	215,147	325,586
商品	1,053,086	1,533,180
仕掛品	88,105	269,537
その他	78,972	93,724
貸倒引当金	△979	△979
流動資産合計	12,797,822	12,526,407
固定資産		
有形固定資産	1,066,749	1,097,416
無形固定資産	32,846	30,101
投資その他の資産		
投資有価証券	287,205	376,851
敷金及び保証金	456,100	439,237
繰延税金資産	535,449	414,254
その他	67,135	67,532
貸倒引当金	△6,649	△6,649
投資その他の資産合計	1,339,241	1,291,226
固定資産合計	2,438,837	2,418,744
資産合計	15,236,659	14,945,152
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,851,447	3,154,851
短期借入金	1,111,622	1,407,625
未払法人税等	342,597	—
賞与引当金	351,700	103,101
役員賞与引当金	16,760	—
受注損失引当金	19,687	—
その他	1,048,134	882,388
流動負債合計	6,741,949	5,547,966
固定負債		
長期借入金	—	700,000
役員退職慰労引当金	82,906	81,315
退職給付に係る負債	1,246,725	1,235,975
資産除去債務	59,967	61,773
その他	1,164	280
固定負債合計	1,390,763	2,079,344
負債合計	8,132,713	7,627,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	2,384,773	2,529,914
自己株式	△2,164	△2,449
株主資本合計	7,035,226	7,180,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,244	147,316
為替換算調整勘定	△17,525	△9,558
その他の包括利益累計額合計	68,718	137,758
純資産合計	7,103,945	7,317,841
負債純資産合計	15,236,659	14,945,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,695,250	14,297,126
売上原価	13,599,390	11,645,363
売上総利益	3,095,859	2,651,763
販売費及び一般管理費	2,450,172	2,363,161
営業利益	645,686	288,602
営業外収益		
受取配当金	8,242	7,692
その他	8,277	23,227
営業外収益合計	16,519	30,920
営業外費用		
支払利息	6,082	6,913
為替差損	2,783	7,177
その他	1,032	1,546
営業外費用合計	9,898	15,638
経常利益	652,307	303,884
税金等調整前四半期純利益	652,307	303,884
法人税、住民税及び事業税	132,270	21,270
法人税等調整額	83,703	94,249
法人税等合計	215,974	115,519
四半期純利益	436,333	188,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,333	188,365

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	436,333	188,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,655	61,072
為替換算調整勘定	1,828	7,966
その他の包括利益合計	16,484	69,039
四半期包括利益	452,818	257,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,818	257,404

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,951,034	4,002,375	3,687,658	16,641,068	54,182	16,695,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,706	—	—	1,706	151,951	153,657
計	8,952,740	4,002,375	3,687,658	16,642,774	206,133	16,848,907
セグメント利益又は損失(△)	305,074	232,477	267,259	804,812	△8,410	796,401

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	804,812
「その他」の区分の利益	△8,410
セグメント間取引消去	△1,796
全社費用(注)	△148,918
四半期連結損益計算書の営業利益	645,686

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,140,470	3,246,807	2,838,136	14,225,414	71,712	14,297,126
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,565	—	46	1,612	170,617	172,230
計	8,142,036	3,246,807	2,838,183	14,227,026	242,330	14,469,357
セグメント利益	126,303	108,527	69,743	304,574	7,300	311,875

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	304,574
「その他」の区分の利益	7,300
セグメント間取引消去	△3,863
全社費用(注)	△19,409
四半期連結損益計算書の営業利益	288,602

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。